

DEVELOPMENT OF A PRACTICAL 3D DDA PROGRAM FOR HAZARD ASSESSMENT OF EARTHQUAKE INDUCED LANDSLIDES

井, 培登

<https://doi.org/10.15017/1785383>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	い ばいとう 井 培登 (Jing Peideng)
論 文 名	DEVELOPMENT OF A PRACTICAL 3D DDA PROGRAM FOR HAZARD ASSESSMENT OF EARTHQUAKE INDUCED LANDSLIDES (実用的な 3次元DDAプログラムの開発および地震による斜面崩壊ハ ザードの評価への適用に関する研究)
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 陳 光齊 副 査 九州大学 教授 三谷 泰浩 副 査 九州大学 教授 久場 隆広

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、複雑な地形を有する斜面における 3次元 DDA モデルを容易かつ効率的に作成するためのプリプロセッサ、および地震荷重の作用およびアンカーボルトによる斜面補強の効果を解析するモジュールを開発することで、実用的な 3次元 DDA プログラムを開発し、地震による斜面崩壊ハザードの評価における実用的なアプローチを提案したことにより、地震による斜面安定解析および土砂運動の予測精度を高め、斜面崩壊に起因する災害における防災力の向上に資するものであり、地盤工学および防災工学上寄与するところがきわめて大きい。よって、本論文は博士(工学)の学位論文に値するものと認める。